

加古川市事務事業評価シート〈平成24年度実施事業〉

事務事業名	環境管理事業		
部局名	環境部	課(室)名	環境政策課

【基本情報】

基本目標	03 うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして	会計	01 一般会計
政策	01 地球環境と地域の環境を保全する	款	04 衛生費
施策	01 環境保全を実践する	項	01 保健衛生費
期間	～ 永年	目	06 環境保全費
事業区分	①一般事務経費事業	細目	005 環境管理事業
地区別	その他		
関連根拠法令等	地球温暖化対策の推進に関する法律、エネルギーの使用の合理化に関する法律、加古川市環境審議会規則		

【現状と課題】

現状と課題	地球温暖化の進行、化石エネルギーの枯渇問題、原子力発電所事故に伴う電力不足問題など、さまざまな問題が発生している。
-------	---

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象 (だれ・何に対して)	手段 (どういった方法で)	意図 (どのような状態にする)				
市民、団体、事業者	環境審議会を開催する。環境市民会議を開催する。緑のカーテンを実施する。	環境行政に市民の意見を反映する。省エネルギーを推進する。				
対象指標	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度		
政策的でない一般の事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、対象指標設定対象外						
活動指標	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値	目標年度
政策的でない一般の事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、活動指標設定対象外						
事業費	千円			1,659		
成果指標	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値	目標年度
政策的でない一般の事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、成果指標設定対象外						

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	政策的でない一般の事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、個別評価対象外
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了	目的、内容ともに妥当である。
--	----------------

※事業費と財源内訳

決算額	1,659	内訳	国費	県費	市債	他	一般	1,659
-----	-------	----	----	----	----	---	----	-------

加古川市事務事業評価シート〈平成24年度実施事業〉

事務事業名	環境監視センター維持補修事業		
部局名	環境部	課(室)名	環境政策課

【基本情報】

基本目標	03 うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして	会計	01 一般会計
政策	01 地球環境と地域の環境を保全する	款	04 衛生費
施策	01 環境保全を実践する	項	01 保健衛生費
期間	～ 永年	目	06 環境保全費
事業区分	②施設維持補修事業	細目	025 水質環境保全事業
地区別	その他		
関連根拠法令等			

【現状と課題】

現状と課題	環境監視センター2階には大気環境測定局及び環境監視テレメータシステムが設置され、24時間365日市内の環境大気及び工場の汚染物質排出状況の常時監視を行っている。同1階には水質及び騒音振動に関する環境調査及び立入調査に用いる分析機器が設置されている。
-------	--

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)				
環境政策課が管理する、環境監視センター建物2階建て建物1棟及び同別館建物2階建て1棟並びに敷地	施設を適正に管理する	大気環境測定局、大気環境監視テレメータシステム及び環境監視に使用する資機材の使用環境を適切に維持し、環境監視業務の遂行に資する。				
対象指標	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度		
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、対象指標設定対象外						
活動指標	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、活動指標設定対象外						
事業費	千円			2,697		
成果指標	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、成果指標設定対象外						

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、個別評価対象外
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
環境監視センターは昭和46年の建築後42年が経過し、老朽化の傾向が見られるが、緊急的に補修等の対策が必要な状態ではない。環境監視の業務の継続に必要な建物の維持補修と管理を今後も維持していくことが必要である。

※事業費と財源内訳

決算額	2,697	内訳	国費	県費	市債	他	一般	2,697
-----	-------	----	----	----	----	---	----	-------

加古川市事務事業評価シート〈平成24年度実施事業〉

事務事業名	水質環境保全事業		
部局名	環境部	課(室)名	環境政策課

【基本情報】

基本目標	03 うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして	会計	01 一般会計
政策	01 地球環境と地域の環境を保全する	款	04 衛生費
施策	01 環境保全を実践する	項	01 保健衛生費
期間	～ 永年	目	06 環境保全費
事業区分	④義務的施策事業	細目	025 水質環境保全事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	環境基本法、水質汚濁防止法、土壌汚染対策法、ダイオキシン類対策特別措置法		

【現状と課題】

現状と課題	工場事業場に対する排水規制及び生活排水処理対策の進展に伴って、公共用水域の水質は近年改善の傾向が見られている。しかしながら水域によっては依然として基準を達成できていない場合もある。ため池や小河川については生活排水の影響を受けやすく、水質汚濁が改善されていない。
-------	--

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)				
市内の水質・土壌に係る環境質	排水を排出し土壌を汚染する事業活動に対し環境関連法令等に基づく規制・指導を行い、産業排水及び生活排水による公共用水域の汚染状況を監視する。	公共用水域に排出される汚染物質の負荷を低減し、市内の水質・土壌に係る環境の質の向上を図る。				
対象指標	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度		
政策的でない一般の事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、対象指標設定対象外						
活動指標	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値	目標年度
政策的でない一般の事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、活動指標設定対象外						
事業費	千円			6,316		
成果指標	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値	目標年度
政策的でない一般の事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、成果指標設定対象外						

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	政策的でない一般の事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、個別評価対象外
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
公共用水域の水質は年々改善しているが、環境基準を達成していない河川・海域がある。水質に係る監視体制は維持することが必要である。

※事業費と財源内訳

決算額	6,316	内訳	国費	県費	市債	他	一般	6,316
-----	-------	----	----	----	----	---	----	-------

加古川市事務事業評価シート〈平成24年度実施事業〉

事務事業名	大気環境保全事業		
部局名	環境部	課(室)名	環境政策課

【基本情報】

基本目標	03 うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして	会計	01 一般会計
政策	01 地球環境と地域の環境を保全する	款	04 衛生費
施策	01 環境保全を実践する	項	01 保健衛生費
期間	～ 永年	目	06 環境保全費
事業区分	④義務的施策事業	細目	030 大気環境保全事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	環境基本法、大気汚染防止法、騒音規制法、振動規制法、悪臭防止法、ダイオキシン対策特別措置法		

【現状と課題】

現状と課題	長年の公害対策の結果、大気汚染物質の濃度は継続的に減少しているが、達成までには至らない項目もあり、近年新たに基準項目となったPM2.5も環境基準を達成していない。基準項目ではないが、降下ばいじんについては製鉄所の影響があり、継続して監視をする必要がある。
-------	---

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象 (だれ・何に対して)	手段 (どういった方法で)	意図 (どのような状態にする)				
市内の大気・騒音・振動・悪臭に係る環境の質	ばい煙を排出し、騒音・振動・悪臭を発生させる事業活動に対し環境関連法令等に基づく規制・指導を行い、市内の大気汚染・騒音の状況を監視する。	大気汚染物質の負荷及び環境騒音を低減し、市内の大気、騒音に係る環境の質の向上を図る。				
対象指標	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度		
政策的でない一般の事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、対象指標設定対象外						
活動指標	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値	目標年度
政策的でない一般の事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、活動指標設定対象外						
事業費	千円			32,672		
成果指標	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値	目標年度
政策的でない一般の事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、成果指標設定対象外						

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	政策的でない一般の事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、個別評価対象外
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 大気汚染に係る基準項目のうちオキシダント・浮遊粒子状物質及び微小粒子状物質については、未だ環境基準の達成に至っておらず、一般環境騒音についても同様である。大気汚染及び騒音に係る監視体制は維持することが必要である。
--

※事業費と財源内訳

決算額	32,672	内訳	国費	県費	495	市債	他	469	一般	31,708
-----	--------	----	----	----	-----	----	---	-----	----	--------

加古川市事務事業評価シート〈平成24年度実施事業〉

事務事業名	環境教育啓発事業		
部局名	環境部	課(室)名	環境政策課

【基本情報】

基本目標	03 うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして	会計	01 一般会計
政策	01 地球環境と地域の環境を保全する	款	04 衛生費
施策	01 環境保全を実践する	項	01 保健衛生費
期間	～ 永年	目	06 環境保全費
事業区分	⑤市施策事業(経常)	細目	010 環境教育啓発事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等			

【現状と課題】

現状と課題	ポスターの提出がある学校はほぼ固定化しており、自然観察会への参加者数については定員を上回ることはない。
-------	---

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)				
環境月間啓発ポスターの募集は市内の小学4年生から中学3年生を対象に、自然観察会は市内の小学生以上を対象に、環境教育出前講座は子供から大人まで特に限定はない。	環境月間啓発ポスターの募集及び自然観察会、環境教育出前講座の開催	ポスターの作成及び自然観察会、環境教育出前講座を通じて、環境保護の意識を醸成する。				
対象指標	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値	目標年度
市内小学4年から中学3年までの児童生徒数	人		16,679	16,427		
加古川市人口(小学生以上)	人		256,862	259,461		
活動指標	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値	目標年度
市内小中学校数	校		40	40		
広報かがわ関連記事掲載回数	回		2	2		
出前講座実施回数	回			12		
活動指標分析結果	ポスターの募集に関する各学校への周知、自然観察会についての広報紙面を利用した告知は適正である。					
事業費	千円		798	532		
成果指標	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値	目標年度
環境月間啓発ポスター応募点数	枚			200	200	平成27年度
上段:計画値/下段:実績値			216	158		
自然観察会参加者数	人			60	60	平成27年度
上段:計画値/下段:実績値			54	27		
出前講座参加者数	人			1,216	1,300	平成27年度
上段:計画値/下段:実績値						
成果指標分析結果	ポスター応募校及び自然観察会参加者の固定化が見受けられる。					

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	妥当性は高い
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が小さい・ない
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は小
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握していない
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地が考えられる(中小程度)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れることが不可能または不適切である
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	コスト削減余地あり
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正な受益者負担である・受益者負担になじまない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 ポスター展については低迷している面はあるが、継続して実施することが重要であるとする。出前講座については、学校園だけでなく、公民館における高齢者大学など幅広い層に広がりを見せており、効果的に啓発が実施できている。

※事業費と財源内訳

決算額	532	内訳	国費	県費	市債	他	一般	532
-----	-----	----	----	----	----	---	----	-----

加古川市事務事業評価シート〈平成24年度実施事業〉

事務事業名	温室効果ガス排出量積算システム構築事業		
部局名	環境部	課(室)名	環境政策課

【基本情報】

基本目標	03 うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして	会計	01 一般会計
政策	01 地球環境と地域の環境を保全する	款	04 衛生費
施策	01 環境保全を実践する	項	01 保健衛生費
期間	平成24年度～平成24年度	目	06 環境保全費
事業区分	⑥市施策事業(臨時)	細目	050 地球温暖化対策推進事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	地球温暖化対策の推進に関する法律		

【現状と課題】

現状と課題	地方公共団体実行計画については策定済みであり、市域全体で取り組みを進める必要がある。
-------	--

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)				意図(どのような状態にする)	
市内で温室効果ガスを排出する者	さまざまな統計、報告等から、市内の温室効果ガスの排出量を積算するシステムを構築する。				温室効果ガスの排出量を積算し、排出量削減に向けた取り組みの検証を行う。	
対象指標		単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
加古川市世帯数		世帯			102,138	
市内事業所数		件			9,555	
活動指標		単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値 目標年度
ホームページへの掲載回数		回			0	1
活動指標分析結果	事務検証、関係機関への調査、システムによる積算に基づき掲載を行う。					
事業費		千円			1,365	
成果指標		単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値 目標年度
市内温室効果ガス排出量(第2種以上エネルギー管理指定工場を除く)		t-CO ₂			1,108,433	926,538 平成27年度
成果指標分析結果	個別管理標準の整備、省エネ機器の導入等により、着実に取り組みを進めていく。平成24年度に記載の数値は、平成24年度に積算した平成22年度の排出量(速報値)である。					

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	義務的事業
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握する必要がない/義務的事業
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地が考えられる(中小程度)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れている
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	コスト削減余地がない
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正な受益者負担である・受益者負担になじまない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 完了 システムの構築は完了。今後は、法律で年1回の温室効果ガス総排出量等の公表が義務づけられており、温室効果ガス削減に向けた継続した取り組みが必要である。
--

※事業費と財源内訳

決算額	1,365	内訳	国費	県費	市債	他	一般	1,365
-----	-------	----	----	----	----	---	----	-------

加古川市事務事業評価シート〈平成24年度実施事業〉

事務事業名	環境測定機器整備事業		
部局名	環境部	課(室)名	環境政策課

【基本情報】

基本目標	03 うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして	会計	01 一般会計
政策	01 地球環境と地域の環境を保全する	款	04 衛生費
施策	01 環境保全を実践する	項	01 保健衛生費
期間	～ 永年	目	06 環境保全費
事業区分	⑦投資事業	細目	035 環境測定機器整備事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	環境基本法、大気汚染防止法、水質汚濁防止法、騒音規制法		

【現状と課題】

現状と課題	市南部に大規模発生源があることから、機器を整備し監視体制を維持してきた。これら汚染物質の濃度は様々な環境対策の結果、近年では環境基準を達成している。一方で新たな監視項目が設定され、常時監視に係るコストは年々増大している。
-------	--

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)				
市内9箇所を設置する大気環境測定局及び大気汚染常時監視に係る自動測定機	市内の大気汚染の状況についての確に把握し法に基づく環境基準等の常時監視を適切に行うために必要な規模の測定局及び自動測定機の整備体制について再検討し、それに基づいて自動測定機の更新年度の先送り等を盛り込んだ新たな大気汚染常時監視機器更新計画を策定する。	更新計画に基づいて大気汚染常時監視に係る自動測定機を整備することで大気汚染常時監視に係る自動測定機の数減少させる。				
対象指標	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値	目標年度
大気環境測定局の数	箇所				9	
大気汚染常時監視に係る自動測定機の数	台				42	
活動指標	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値	目標年度
大気汚染常時監視に係る自動測定機の整備台数	台				7	
大気汚染常時監視に係る自動測定機の廃棄台数	台				7	
活動指標分析結果	平成24年度は硫酸化物自動測定機2台、浮遊粒子状物質自動測定機2台、微風向風速計2台、日射・放射収支量計1台の計7台を更新した。					
事業費	千円			10,472		
成果指標	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値	目標年度
大気汚染常時監視に係る自動測定機の更新台数の累計	台				42	平成34年度
					7	
成果指標分析結果	平成24年度はすべて既存自動測定機の更新であったため、前年度比較して指標値は変わらなかった。					

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	義務的事業
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が中程度/義務的事業
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握する必要はない/義務的事業
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地が考えられる(中小程度)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れることが不可能または不適切である
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	コスト削減余地がない
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正な受益者負担である・受益者負担になじまない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
大気環境測定局の測定項目のうち、二酸化硫黄、窒素酸化物、浮遊粒子状物質については、概ね環境基準値を満足している。これらについては、維持管理のコストも生じており、測定機器の数を見直すことも必要である。

※事業費と財源内訳

決算額	10,472	内訳	国費	県費	市債	他	一般	10,472
-----	--------	----	----	----	----	---	----	--------

加古川市事務事業評価シート〈平成24年度実施事業〉

事務事業名	再生可能エネルギー利用設備設置事業		
部局名	環境部	課(室)名	環境政策課

【基本情報】

基本目標	03 うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして	会計	01 一般会計
政策	01 地球環境と地域の環境を保全する	款	04 衛生費
施策	01 環境保全を実践する	項	01 保健衛生費
期間	平成24年度～永年	目	06 環境保全費
事業区分	⑦投資事業	細目	065 再生可能エネルギー利用設備設置事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等			

【現状と課題】

現状と課題	再生可能エネルギーの固定価格買取制度がスタートした。市だけでなく、市内の太陽光発電の導入件数も着実に増加している。
-------	---

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)
公共施設	再生可能エネルギー利用設備(太陽光発電設備)を設置する。	省エネルギー対策、地球温暖化対策を進める。

対象指標	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値	目標年度
再生可能エネルギー利用設備整備計画対象施設数	件			28		
活動指標	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値	目標年度
再生可能エネルギー利用設備整備施設数	件			1		

活動指標分析結果	再生可能エネルギーの導入を着実に進めている。			
事業費	千円			24,760

成果指標	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値	目標年度
電気使用量	kWh			40,491,274	39,000,000	平成27年度

成果指標分析結果	天候等にも影響されるが、太陽光発電設備の導入により着実に再生可能エネルギーの利用が進んでいる。
----------	---

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	妥当性は高い
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握する必要がない/義務的の事業
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地はない(成果は十分である)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れることが不可能または不適切である
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	コスト削減余地がない
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正な受益者負担である・受益者負担になじまない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 再生可能エネルギーの導入を今後も進めていく。
--

※事業費と財源内訳

決算額	24,760	内訳	国費	県費	市債	22,200	他	1,280	一般	1,280
-----	--------	----	----	----	----	--------	---	-------	----	-------

加古川市事務事業評価シート〈平成24年度実施事業〉

事務事業名	再生可能エネルギー利用設備設置費補助事業		
部局名	環境部	課(室)名	環境政策課

【基本情報】

基本目標	03 うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして	会計	01 一般会計
政策	01 地球環境と地域の環境を保全する	款	04 衛生費
施策	01 環境保全を実践する	項	01 保健衛生費
期間	平成24年度～永年	目	06 環境保全費
事業区分	⑦投資事業	細目	060 再生可能エネルギー利用設備設置費補助事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	地球温暖化対策の推進に関する法律		

【現状と課題】

現状と課題	再生可能エネルギーの固定価格買取制度がスタートした。市内の太陽光発電の導入件数は着実に増加している。
-------	--

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)				
市民、公共的団体	市内の太陽光発電装置の設置にかかる事業に対して補助金を交付する。	再生可能エネルギーの導入を促進し、地球温暖化問題、エネルギー問題等の解決に資する。				
対象指標	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度		
加古川市世帯数	世帯			102,138		
活動指標	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値	目標年度
太陽光発電システム設置相談会開催回数	回			3	4	
活動指標分析結果	太陽光発電の特徴や補助金の動向について説明し、導入に関する一助となっている。					
事業費	千円			3,706		
成果指標	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値	目標年度
太陽光発電設備設置補助件数	件			63	50	平成27年度
太陽光発電導入規模	件			4,400	6,000	平成27年度
成果指標分析結果	東日本大震災後、再生可能エネルギーに関する市民の関心は高く、問い合わせ、申請も多い。					

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	妥当性は高い
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握している
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地はない(成果は十分である)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れることが不可能または不適切である
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	コスト削減余地あり
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	おおむね適正であり、当分の間見直す必要がない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 太陽光発電導入の飛躍的な拡大を目的とした事業である。
--

※事業費と財源内訳

決算額	3,706	内訳	国費	県費	市債	他	1,853	一般	1,853
-----	-------	----	----	----	----	---	-------	----	-------

加古川市事務事業評価シート〈平成24年度実施事業〉

事務事業名	林業振興事業		
部局名	地域振興部	課(室)名	農林水産課

【基本情報】

基本目標	03 うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして	会計	01 一般会計
政策	01 地球環境と地域の環境を保全する	款	06 農林水産業費
施策	02 地域の自然環境を守る	項	04 林業費
期間	～ 永年	目	01 林業振興費
事業区分	⑤市施策事業(経常)	細目	005 林業振興事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等			

【現状と課題】

現状と課題	農作物被害の増加、動植物の生息環境に悪影響をもたらす外来生物の増加、また有害鳥獣(主にイノシシ)の増加に伴い、農業者の生産意欲の低下や地域の動植物の生息環境の悪化が懸念されている。
-------	--

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)
○市民、主に市内農業者(有害鳥獣捕獲業務)○森林又は公園を憩いの場として利用する市民(公益森林保育業務)	○有害鳥獣捕獲業務を地元猟友会に委託(有害鳥獣等捕獲業務)○明神の森の保育管理を地元町内会に委託(平岡町新在家、公益森林保育業務)、下刈り作業を県内森林組合に業務委託(上荘町白沢、公益森林保育業務)	○農作物に被害を与える特定外来生物、有害鳥獣を捕獲し生息数を減少させることで、農業者の生産意欲の低下を防ぎ、同時に動植物の生息環境の保全を図る。○森林を保全することにより、生物多様性保全や保健休養の場の提供等の森林の持つ多面的機能の維持を図る。

対象指標	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値	目標年度
捕獲頭数(特定外来生物)	頭			212		
捕獲頭数(イノシシ)	頭			45		
活動指標	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値	目標年度
有害鳥獣等捕獲業務委託料	千円			1,500		
公益森林保育業務委託料	千円			443		

活動指標分析結果 近年、有害鳥獣等の捕獲頭数が増加傾向にあり、それに伴い業務委託料も増加している。しかし、捕獲実績によって委託料の増減が生じるため、毎年見直すのが妥当であると考えます。

事業費	千円			2,289		
-----	----	--	--	-------	--	--

成果指標	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値	目標年度
捕獲頭数(特定外来生物)	頭			212	220	平成27年度
上段:計画値/下段:実績値						
捕獲頭数(イノシシ)	頭			45	60	平成27年度
上段:計画値/下段:実績値						
上段:計画値/下段:実績値						

成果指標分析結果 特定外来生物(アライグマ、ヌートリア)の捕獲頭数、イノシシの捕獲頭数はどちらも増加傾向にある。捕獲頭数については捕獲従事者数や環境の変化によって増減が生じるが、平成24年度の水準で業務委託を続けることが、妥当であると考えられる。

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	妥当性は高い
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握している
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地が考えられる(中小程度)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れる余地がある
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	コスト削減余地がない
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正な受益者負担である・受益者負担になじまない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了	
特定外来生物の捕獲頭数、イノシシの捕獲頭数はどちらも増加傾向にあるので、地元猟友会による捕獲活動を継続して行っていかなければならない。また、地元猟友会が効果的に捕獲活動を実施できるように、捕獲わなの絶対数を増やす必要がある。	

※事業費と財源内訳

決算額	2,289	内訳	国費	県費	794	市債	他	30	一般	1,465
-----	-------	----	----	----	-----	----	---	----	----	-------

加古川市事務事業評価シート〈平成24年度実施事業〉

事務事業名	塵芥収集管理事業		
部局名	環境部	課(室)名	環境第1課

【基本情報】

基本目標	03 うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして	会計	01 一般会計
政策	02 資源の循環と環境美化を推進する	款	04 衛生費
施策	01 ごみを減らし、リサイクルを進める	項	02 清掃費
期間	～ 永年	目	02 塵芥処理費
事業区分	①一般事務経費事業	細目	005 塵芥収集管理事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、加古川市廃棄物の処理及び清掃に関する条例		

【現状と課題】

現状と課題	ごみ減量化と、ごみ区分の最適化による資源化率の向上により、今後さらにごみ排出量の削減に努める必要がある。そのため、適正な収集を実施するための管理を行う必要性が高まっている。
-------	--

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象 (だれ・何に対して)	手段 (どういった方法で)	意図 (どのような状態にする)	
市内全域	塵芥処理に関する一般的管理運営を行う。廃棄物の適正処理の推進を図る。	塵芥処理に関する一般的管理運営を行い、廃棄物の適正処理の推進を図る。	
対象指標		単位	平成22年度 平成23年度 平成24年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、対象指標設定対象外			
活動指標		単位	平成22年度 平成23年度 平成24年度 目標値 目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、活動指標設定対象外			
事業費		千円	403
成果指標		単位	平成22年度 平成23年度 平成24年度 目標値 目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、成果指標設定対象外			

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、個別評価対象外
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 塵芥処理に関する一般的管理運営を行い、廃棄物の適正処理を図ることは、市の施策として必要と考える。
--

※事業費と財源内訳

決算額	403	内訳	国費	県費	市債	他	一般	403
-----	-----	----	----	----	----	---	----	-----

加古川市事務事業評価シート〈平成24年度実施事業〉

事務事業名	清掃一般管理事業		
部局名	環境部	課(室)名	環境第1課

【基本情報】

基本目標	03 うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして	会計	01 一般会計
政策	02 資源の循環と環境美化を推進する	款	04 衛生費
施策	01 ごみを減らし、リサイクルを進める	項	02 清掃費
期間	～ 永年	目	01 清掃総務費
事業区分	①一般事務経費事業	細目	005 清掃一般管理事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、加古川市廃棄物の処理及び清掃に関する条例		

【現状と課題】

現状と課題	ごみ減量化と、ごみ区分の最適化による資源化率の向上により、今後さらにごみ排出量の削減に努める必要がある。そのため、ごみ処理に関する各種の情報を収集し、調査研究を進める必要性が高まっている。
-------	--

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象 (だれ・何に対して)	手段 (どういった方法で)	意図 (どのような状態にする)				
市民	清掃業務に関する一般的管理運営を行う。	清掃業務に関する一般管理運営を行い、ごみの適正処理の推進を図る。				
対象指標	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度		
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、対象指標設定対象外						
活動指標	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、活動指標設定対象外						
事業費	千円			2,199		
成果指標	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、成果指標設定対象外						

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、個別評価対象外
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	
	7 類似事業との統廃合ができませんか。	評価	
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
ごみ処理業務に関して、適正な処理と更なる減量化が必要な状況であり、各種情報を入手するため各協議会に参加する必要がある。また、事務に係る庶務業務も含まれていることなど、業務を維持して実施する必要がある。

※事業費と財源内訳

決算額	2,199	内訳	国費	県費	市債	他	10一般	2,189
-----	-------	----	----	----	----	---	------	-------

加古川市事務事業評価シート〈平成24年度実施事業〉

事務事業名	環境美化センター維持補修事業		
部局名	環境部	課(室)名	環境第1課

【基本情報】

基本目標	03 うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして	会計	01 一般会計
政策	02 資源の循環と環境美化を推進する	款	04 衛生費
施策	01 ごみを減らし、リサイクルを進める	項	02 清掃費
期間	～ 永年	目	01 清掃総務費
事業区分	②施設維持補修事業	細目	020 環境美化センター維持補修事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等			

【現状と課題】

現状と課題	施設の老朽化が進んでいる。
-------	---------------

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象 (だれ・何に対して)	手段 (どういった方法で)	意図 (どのような状態にする)				
環境美化センター	環境美化センター施設の維持及び管理業務を実施する。	ごみ収集及びし尿収集業務の適切な運営を実施するために、環境美化センター施設の維持を実施する。				
対象指標	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度		
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、対象指標設定対象外						
活動指標	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、活動指標設定対象外						
事業費	千円			32,342		
成果指標	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、成果指標設定対象外						

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、個別評価対象外
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
環境美化センターの維持管理に関し、委託業務も含めて適切に実施されている。

※事業費と財源内訳

決算額	32,342	内訳	国費	県費	市債	他	234	一般	32,108
-----	--------	----	----	----	----	---	-----	----	--------

加古川市事務事業評価シート〈平成24年度実施事業〉

事務事業名	ごみステーション整備事業		
部局名	環境部	課(室)名	環境第1課

【基本情報】

基本目標	03 うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして	会計	01 一般会計
政策	02 資源の循環と環境美化を推進する	款	04 衛生費
施策	01 ごみを減らし、リサイクルを進める	項	02 清掃費
期間	～ 永年	目	02 塵芥処理費
事業区分	⑤市施策事業(経常)	細目	005 塵芥収集管理事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、加古川市廃棄物の処理及び清掃に関する条例		

【現状と課題】

現状と課題	近年、開発行為を行う場合はごみステーションの設置義務等を求めているが、いわゆるミニ開発を続けた地域では世帯数が多いにも係らず、ごみステーションが面積、箇所数ともに不足している課題がある。
-------	---

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)				意図(どのような状態にする)	
町内会	町内会がごみステーションを設置、整備する場合に要する費用の補助を行う。またごみステーションに分別指導看板を設置する。				適正なごみステーションの整備を行うことにより、地域の環境美化育成を図る。	
対象指標		単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
単位町内会・自治会数		町内会・自治会			321	
活動指標		単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値 目標年度
ごみステーション整備箇所数		箇所			36	25 平成26年度
分別看板配布枚数		枚			40	50 平成26年度
活動指標分析結果	カラスやネコ等による食害を防ぐ「カラス除けネット」の整備件数が増加している。補助率の高い「ごみステーションの統合」については実績がほとんどないのが課題である。看板については新規設置や汚損による交換が主である。収集方法等が大幅に変更となればすべてを取り替える必要がある。					
事業費		千円			1,359	
成果指標		単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値 目標年度
ごみステーション数		箇所			3,362	3,400 平成26年度
成果指標分析結果	世帯数が漸増し、市域全域で宅地のスプロール化が進むなか、ごみステーション数は増加傾向にある。収集作業の効率化、安全性の確保を図るためには、適正なごみステーションの設置、整備が求められる。					

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	妥当性は高い
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握している
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地が考えられる(中小程度)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れている
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	コスト削減余地あり
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正な受益者負担である・受益者負担になじまない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了	
ごみ収集が円滑に行われるとともに、地域の生活環境及び公衆衛生が維持される。またごみステーション整備補助に関しては、受益者に応分の負担がある事業のため、費用対効果が高い事業であると考えられる。市内にある約3,300箇所すべてを一度に整備することは困難なため、計画的に補助整備を行うことが必要である。	

※事業費と財源内訳

決算額	1,359	内訳	国費	県費	市債	他	一般	1,359
-----	-------	----	----	----	----	---	----	-------

加古川市事務事業評価シート〈平成24年度実施事業〉

事務事業名	ごみ減量化啓発事業		
部局名	環境部	課(室)名	環境第1課

【基本情報】

基本目標	03 うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして	会計	01 一般会計
政策	02 資源の循環と環境美化を推進する	款	04 衛生費
施策	01 ごみを減らし、リサイクルを進める	項	02 清掃費
期間	～ 永年	目	01 清掃総務費
事業区分	⑤市施策事業(経常)	細目	015 ごみ減量化推進事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、加古川市廃棄物の処理及び清掃に関する条例		

【現状と課題】

現状と課題	高度成長時代のごみ排出量の増大期を経て、最近の3Rの推進の効果もあり、リサイクルに対する意識は高くなったが、リデュースの取組みを高める必要がある。
-------	---

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)
市内小学校・中学校に通う生徒、世帯	●小・中学生への3Rに関する標語・ポスターの作成機会の創出●不要品交換情報誌を発行●レジ袋削減の啓発	市民からごみ減量に対する意識を持ってもらい、家庭系ごみの減量化を促進する。

対象指標	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度
市内の学校園に通う幼児・児童・生徒数	人			210
世帯数	世帯			102,483

活動指標	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値	目標年度
ポスターコンクール・標語応募件数	件			210		
バトン発行回数	回			12		

活動指標分析結果	市内小・中学校に呼びかけ3R促進のポスター・標語の作品を提出してもらった。また、全国で優秀賞をとった作品はパネルにしてPR活動に利用した。リサイクル情報誌バトンは毎月発行し、市民センター等で掲出し情報提供を行った。
----------	---

事業費	千円			169
-----	----	--	--	-----

成果指標	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値	目標年度
バトン成立件数	件			7	40	平成30年度
家庭系可燃ごみ収集量	t			50,736	38,460	平成34年度

成果指標分析結果	低年齢期からの3R促進への意識付けができポスター・標語に210件の応募があった。また、リサイクル情報誌バトンによる交換成立は7件となる。家庭系可燃ごみ収集量は前年より30t削減されている。
----------	--

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	妥当性は高い
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握している
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地が考えられる(中小程度)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れている
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	改革実施/コスト削減実施済
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正な受益者負担である・受益者負担になじまない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 多くの学生が、3Rに関する標語やポスター作成に関することにより、減量意識の普及・向上につながっている。また、不用品の再利用制度も、市民の意識向上が高まると共にごみ減量に繋がるものとする。

※事業費と財源内訳

決算額	169	内訳	国費	県費	市債	他	一般	169
-----	-----	----	----	----	----	---	----	-----

加古川市事務事業評価シート〈平成24年度実施事業〉

事務事業名	資源ごみ収集事業		
部局名	環境部	課(室)名	環境第1課

【基本情報】

基本目標	03 うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして	会計	01 一般会計
政策	02 資源の循環と環境美化を推進する	款	04 衛生費
施策	01 ごみを減らし、リサイクルを進める	項	02 清掃費
期間	～ 永年	目	02 塵芥処理費
事業区分	⑤市施策事業(経常)	細目	015 資源ごみ収集事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、容器包装リサイクル法、小型家電リサイクル法		

【現状と課題】

現状と課題	ごみ区分の最適化により資源化率を向上させ、今後さらに可燃ごみをはじめとするごみ排出量の削減に努める必要がある。
-------	---

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)				意図(どのような状態にする)	
世帯(一般家庭)	月1回各資源ごみを収集し、中間処理を経て再生事業者等に売却または引き渡す。				ごみを燃やすことや最終処分場の埋め立てを避け、環境への負担を減らす。	
対象指標	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値	目標年度
加古川市人口(10/1付推計人口)	人			268,431		
世帯数	世帯			102,208		
活動指標	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値	目標年度
収集人口	人			268,038		平成26年度
活動指標分析結果	人口増加のピーク期を過ぎ、緩やかに人口の減少化が見られる。					
事業費	千円			76,031		
成果指標	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値	目標年度
資源ごみ収集量	t			3,857	3,033	平成34年度
資源化率	%			11.89	25	平成27年度
資源化率(家庭系ごみに占める資源ごみの割合)	%			6.5	7	平成34年度
成果指標分析結果	ごみ分別の徹底、3Rの周知などにより、資源ごみ回収量の増加、また可燃ごみをはじめとするごみ全体の減量化を推進することによって資源化率の向上を図る必要がある。					

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	義務的事業
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	対象を変える必要がある
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握している
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地が考えられる(中小程度)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れている
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	改革実施/コスト削減実施済
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	おおむね適正であり、当分の間見直す必要がない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
決められた場所、時間、ごみ出しのルールを守って排出されたごみについては、当日中に全量収集しており、安全で衛生的な町づくりに寄与している。今後、ごみ発生抑制や分別指導によるごみ減量化により、効率的なごみ収集・運搬を行う余地がある。資源ごみ収集はすべて委託しており、適切な時期に入札を実施し、経費の節減を図ることができている。

※事業費と財源内訳

決算額	76,031	内訳	国費	県費	市債	他	一般	76,031
-----	--------	----	----	----	----	---	----	--------

加古川市事務事業評価シート〈平成24年度実施事業〉

事務事業名	集団回収奨励事業		
部局名	環境部	課(室)名	環境第1課

【基本情報】

基本目標	03 うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして	会計	01 一般会計
政策	02 資源の循環と環境美化を推進する	款	04 衛生費
施策	01 ごみを減らし、リサイクルを進める	項	02 清掃費
期間	昭和55年度～永年	目	01 清掃総務費
事業区分	⑤市施策事業(経常)	細目	015 ごみ減量化推進事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	加古川市資源ごみ集団回収運動奨励金交付要綱		

【現状と課題】

現状と課題	集団回収は、自治体の経費削減効果大きい。民間の調査によると、集団回収に要する経費は、行政が回収に要する経費を大幅に下回る。循環型社会構築に大きな役割を果たす。
-------	---

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)
集団回収運動を行う市内各団体	集団回収された資源ごみ(紙類・衣類)について、回収量1kgあたり7円の奨励金を交付する。	資源回収意欲を高め、資源物の回収量を増加させる。

対象指標	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値	目標年度
活動団体数	団体	343	343	343		
活動指標	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値	目標年度
集団回収奨励金申請件数	件	1,132	1,205	1,102	1,200	平成30年度
集団回収回数	回	2,756	2,706	2,623	2,700	平成30年度

活動指標分析結果	集団回収の回数が増加したが、資源ごみの回収量が減少した。			
事業費	千円	62,338	60,038	55,038

成果指標	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値	目標年度
資源ごみ回収量	キログラム	8,425,093	7,739,882	9,000,000	7,500,000	平成30年度
資源化率	%	12.72	11.75	11.89	25	平成27年度

成果指標分析結果	広報等でPRをしたが、資源ごみ回収量は前年度より減少し、目標値には達していない。また、資源化率は資源ごみの抜き取り行為等により達成度が低い。
----------	--

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	妥当性は高い
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握している
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地が考えられる(中小程度)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れている
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	コスト削減余地あり
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正な受益者負担である・受益者負担になじまない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
資源物回収量の増加、市民のごみ分別やリサイクル意識の向上などを図り、また奨励金の有効活用、地域住民相互の連帯と親睦へのつながりといった面からも、今後も実施団体数を増やし、集団回収への取組みを継続させていく必要がある。

※事業費と財源内訳

決算額	55,038	内訳	国費	県費	市債	他	一般	55,038
-----	--------	----	----	----	----	---	----	--------

加古川市事務事業評価シート〈平成24年度実施事業〉

事務事業名	塵芥収集事業		
部局名	環境部	課(室)名	環境第1課

【基本情報】

基本目標	03 うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして	会計	01 一般会計
政策	02 資源の循環と環境美化を推進する	款	04 衛生費
施策	01 ごみを減らし、リサイクルを進める	項	02 清掃費
期間	～ 永年	目	02 塵芥処理費
事業区分	⑤市施策事業(経常)	細目	010 塵芥収集事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、加古川市廃棄物の処理及び清掃に関する条例		

【現状と課題】

現状と課題	人口のピーク時と比較してごみ排出量は減少傾向にあるが、今後も、可燃ごみの減量化、ごみ区分の最適化による資源化率の向上により、ごみ排出量の削減に努める必要がある。
-------	--

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)
世帯(一般家庭)	一般家庭から排出されるごみを収集する。	市内から排出され収集運搬された可燃ごみ等を適正に収集、運搬することにより良好な住環境の保持を図る。

対象指標	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値	目標年度
加古川市人口(10/1付推計人口)	人			268,431		
世帯数	世帯			102,208		
活動指標	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値	目標年度
収集人口	人			268,038		平成26年度

活動指標分析結果	人口増加のピーク期を過ぎ、緩やかに人口の減少化が見られる。			
事業費	千円			229,892

成果指標	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値	目標年度
家庭系可燃ごみ収集量 <small>上段:計画値/下段:実績値</small>	t			49,952	37,949	平成34年度
市民1人1日当りの可燃ごみ排出量 <small>上段:計画値/下段:実績値</small>	g			511	394	平成34年度

成果指標分析結果	人口増加のピーク期を過ぎ、ごみ収集量が緩やかな減少傾向にある。しかしながら、核家族化の進行に伴う世帯数の増加等の要因もあり、可燃ごみ収集量は大幅に減少していない。
----------	---

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	義務的事業
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握している
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地が考えられる(中小程度)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合が考えられる(市役所内の類似事業)
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れている
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	改革実施/コスト削減実施済
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	一部適正でなく、早急に見直す必要がある

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了	
決められた場所、時間、ごみ出しのルールを守って排出されたごみについては、当日中に全量収集しており、安全で衛生的な町づくりに寄与している。今後、市直営/委託比率の見直しや、ごみ発生抑制や分別指導によるごみ減量化により、効率的なごみ収集・運搬を行う余地がある。既存の委託地域については5年毎に入札を実施し、経費の節減を図ることができている。	

※事業費と財源内訳

決算額	229,892	内訳	国費	県費	市債	他	一般	229,892
-----	---------	----	----	----	----	---	----	---------

加古川市事務事業評価シート〈平成24年度実施事業〉

事務事業名	生ごみ処理機購入助成事業		
部局名	環境部	課(室)名	環境第1課

【基本情報】

基本目標	03 うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして	会計	01 一般会計
政策	02 資源の循環と環境美化を推進する	款	04 衛生費
施策	01 ごみを減らし、リサイクルを進める	項	02 清掃費
期間	平成12年度～平成24年度	目	01 清掃総務費
事業区分	⑤市施策事業(経常)	細目	015 ごみ減量化推進事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	電動式生ごみ処理機購入補助金交付要綱		

【現状と課題】

現状と課題	平成34年度実施のごみ広域処理を控え、可燃ごみの更なる減量が必要な状態である。
-------	---

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)				意図(どのような状態にする)	
世帯	生ごみ処理機購入者に対して、補助金を交付する。				生ごみの減量化とごみ減量について市民意識の高揚を図る。	
対象指標	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度		
世帯数	世帯			38		
活動指標	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値	目標年度
助成件数	人			38		
活動指標分析結果	補助制度開始当初5年間は、年平均400件補助実績があったが、この数年間は利用件数が減少しており、平成21年度からは2桁件数となり市民ニーズは落ち着いたと考える。					
事業費	千円			1,046		
成果指標	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値	目標年度
家庭系可燃ごみ量	t			50,736	38,460	平成24年度
成果指標分析結果	電動式生ごみ処理機購入補助制度の始まりにより、家庭系ごみ減量化が促進されてきたものの、家庭系ごみの排出量も横ばい傾向になっている。					

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	見直しすべき
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	事業完了
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響はない
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握している
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	事業完了
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	事業完了
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	事業完了
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	コスト削減余地あり
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正な受益者負担である・受益者負担になじまない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
補助制度開始当初5年間は、年平均400件補助実績があったが、この数年間は利用件数が減少しており、市民ニーズは落ち着いたと考える。今後は、新たな生ごみ減量施策に切り替える必要がある。

※事業費と財源内訳

決算額	1,046	内訳	国費	県費	市債	他	一般	1,046
-----	-------	----	----	----	----	---	----	-------

加古川市事務事業評価シート〈平成24年度実施事業〉

事務事業名	分別収集啓発事業		
部局名	環境部	課(室)名	環境第1課

【基本情報】

基本目標	03 うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして	会計	01 一般会計
政策	02 資源の循環と環境美化を推進する	款	04 衛生費
施策	01 ごみを減らし、リサイクルを進める	項	02 清掃費
期間	～ 永年	目	02 塵芥処理費
事業区分	⑤市施策事業(経常)	細目	005 塵芥収集管理事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、加古川市廃棄物の処理及び清掃に関する条例		

【現状と課題】

現状と課題	高度成長時代のごみ排出量の増大期を経て、最近の3Rの推進の効果もあり、ごみの細分化が進み、ごみ排出についてのルールがきめ細やかになった反面、そのルールの理解が難しくなった面がある。
-------	--

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)
市内全域	ごみ収集日程表の作成・配布、ごみ分別指導業務の委託を行う。	ごみ収集日程表の作成・配布、ごみ分別指導業務の委託等により、ごみ分別の指導・啓発を行う。

対象指標	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度
加古川市人口(10/1付推計人口)	人			268,431
加古川市世帯数	世帯			102,208

活動指標	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値	目標年度
収集世帯数	世帯			93,297		平成26年度
ごみ日程表配布数	枚			130,000		平成26年度
保健衛生推進委員研修会開催回数	回			26		平成26年度

活動指標分析結果	ごみ日程表(点字版含む)を全戸配布したことにより、すべての市民に日程及び資源化率の向上につながる諸情報を周知できたと考えられる。保健協研修会の開催については、市並びに各地区での研修会を実施することにより、ごみ減量・資源化の推進について意識が高まったと考えられる。					
事業費	千円			19,077		

成果指標	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値	目標年度
資源ごみ収集量	t			3,857	3,033	平成34年度
資源化率(家庭系ごみに占める資源ごみの割合)	%			6.5	7	平成34年度

成果指標分析結果	ごみ分別の徹底、3Rの周知などにより、資源ごみ回収量の増加、また可燃ごみをはじめとするごみ全体の減量化を推進することによって資源化率の向上を図る必要がある。					
----------	--	--	--	--	--	--

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	妥当性は高い
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握している
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地が考えられる(中小程度)
	7 類似事業との統廃合ができませんか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れている
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	コスト削減余地あり
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正な受益者負担である・受益者負担になじまない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了	
市民生活に密着したごみ排出について、排出方法及び収集日程等のルールを周知し、適正にごみを排出するよう指導することにより、安全で衛生的な町づくりに寄与している。持続可能な循環型社会の実現に向け、環境負荷を低減し、さらにごみ減量化と資源化を推進するためには、本事業の継続が必要と考える。	

※事業費と財源内訳

決算額	19,077	内訳	国費	県費	市債	他	一般	19,077
-----	--------	----	----	----	----	---	----	--------

加古川市事務事業評価シート〈平成24年度実施事業〉

事務事業名	一般廃棄物処理基本計画策定事業		
部局名	環境部	課(室)名	環境第1課

【基本情報】

基本目標	03 うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして	会計	01 一般会計
政 策	02 資源の循環と環境美化を推進する	款	04 衛生費
施 策	01 ごみを減らし、リサイクルを進める	項	02 清掃費
期 間	平成23年度～平成24年度	目	01 清掃総務費
事業区分	⑥市施策事業(臨時)	細目	025 循環型社会推進事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律第6条第1項、加古川市廃棄物の処理及び清掃に関する条例第4条第1項		

【現状と課題】

現状と課題	前計画で定めた資源化率等の目標値の達成見込みは低く、また、ごみ処理の広域化を視野に入れた廃棄物処理を計画する必要があった。具体的には、ごみ発生量を大幅に抑制すること、また資源化率を高めるための新たな取り組みを検討する必要があった。
-------	---

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)
市民、事業者、市	平成23年度に、廃棄物処理計画内容を検討するため、庁内検討委員会を6回、環境審議会を1回開催した。また、一般家庭、事業所を対象にごみ処理に関するアンケートを実施した。平成24年度に具体的な計画内容を定めるため、継続して庁内検討委員会、環境審議会を開催すると共に、パブリックコメントを実施する。決定した計画は、製本印刷し市の施設において公表すると共にホームページ上でも閲覧できるようにする。	市民及び事業者へ、ごみ減量・資源化・ごみ適正処理に関しての意識を高めてもらう。また、市の廃棄物処理の目標を明確にする。

対象指標	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度
加古川市人口(10/1付推計人口)	人			268,390
市内事業所数	件			9,555

活動指標	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値	目標年度
環境審議会の開催回数	回			6		
一般廃棄物処理計画庁内検討委員会開催回数	回			7		
パブリックコメント意見数	件			5		

活動指標分析結果	環境審議会及び庁内検討委員会について、開催回数が当初の予定通り実施でき、また積極的な意見も多くあった。パブリックコメントにおいても、ごみ減量化・資源化に積極的な意見があり、妥当な活動内容であったと考える。
----------	--

事業費	千円			386
-----	----	--	--	-----

成果指標	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値	目標年度
一般廃棄物処理計画作成部数	冊			300	300	平成24年度
一般廃棄物処理計画概要版作成部数	冊			500	500	平成24年度

成果指標分析結果	予定の数量を印刷して関係機関へ配付すると共に市の施設やホームページで公表した。計画の内容もごみ減量・資源化等の数値目標とそれに至る具体的な施策を明記し、市民・事業所へ意識を向上してもらい指針としても妥当なものであると考える。
----------	--

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	義務的的事业
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握する必要がない/義務的的事业
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	事業完了
	7 類似事業との統廃合が出来ますか。	評価	事業完了
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	事業完了
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	改革実施/コスト削減実施済
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正な受益者負担である・受益者負担になじまない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 完了
環境審議会やパブリックコメントなどで市民の意見を積極的に取り入れ、計画内容を決定した。決定した内容は、印刷して関係機関に配付すると共に市の施設で公開した。また、ホームページで閲覧できるようにしており、ごみ減量・資源化の意識向上において効果があると考える。今後は、計画の進行管理を適切に行う必要がある。

※事業費と財源内訳

決算額	386	内訳	国費	県費	市債	他	一般	386
-----	-----	----	----	----	----	---	----	-----

加古川市事務事業評価シート〈平成24年度実施事業〉

事務事業名	産業廃棄物処理事業		
部局名	環境部	課(室)名	環境第1課

【基本情報】

基本目標	03 うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして	会計	01 一般会計
政策	02 資源の循環と環境美化を推進する	款	04 衛生費
施策	01 ごみを減らし、リサイクルを進める	項	02 清掃費
期間	平成24年度～永年	目	01 清掃総務費
事業区分	⑥市施策事業(臨時)	細目	030 産業廃棄物処理事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、循環型社会形成推進基本法、廃棄物処理法		

【現状と課題】

現状と課題	事業系の金属類等は、定められた処理が義務付けられており、適切に処理する必要がある。環境負荷の少ない循環型社会の形成に寄与するため、廃棄物の分別はもちろん、更なる減量が求められている。
-------	---

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)				意図(どのような状態にする)	
市域全体(本庁舎及び各市施設)	産業廃棄物の収集、運搬及び処理を行う。				加古川市が事業者として排出する産業廃棄物を適正に処理することにより、環境負荷の少ない循環型社会の形成に寄与する。	
対象指標	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度		
本庁舎及び各施設	箇所			162		
活動指標	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値	目標年度
混合廃棄物持込量	m ³			128	120	平成26年度
廃蛍光灯持込量	kg			2,450	2,400	平成26年度
活動指標分析結果	24年度から実施した事業であり、前年度実績との比較ができないが、当該年度の数量を基準に次年度以降の推移を注視したいと考える。					
事業費	千円			1,841		
成果指標	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値	目標年度
混合廃棄物処理量	m ³			128	120	平成26年度
上段:計画値/下段:実績値						
廃蛍光灯処理量	kg			2,450	2,400	平成26年度
上段:計画値/下段:実績値						
上段:計画値/下段:実績値						
成果指標分析結果	廃蛍光灯を含む混合廃棄物全般を収集、運搬及び処理ができる処理業者と委託契約することにより、持ち込まれた産廃の量を適正に処理する必要がある。					

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	義務的事业
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が中程度/義務的事业
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握する必要がない/義務的事业
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地が考えられる(大)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れることが不可能または不適切である
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	コスト削減余地あり
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正な受益者負担である・受益者負担になじまない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
資源ごみの分別を徹底しごみ減量を図り、市が排出する廃棄物の減量を進める必要がある。

※事業費と財源内訳

決算額	1,841	内訳	国費	県費	市債	他	一般	1,841
-----	-------	----	----	----	----	---	----	-------

加古川市事務事業評価シート〈平成24年度実施事業〉

事務事業名	塵芥収集車両購入事業		
部局名	環境部	課(室)名	環境第1課

【基本情報】

基本目標	03 うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして	会計	01 一般会計
政策	02 資源の循環と環境美化を推進する	款	04 衛生費
施策	01 ごみを減らし、リサイクルを進める	項	02 清掃費
期間	～ 永年	目	02 塵芥処理費
事業区分	⑦投資事業	細目	020 塵芥収集車両購入事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、加古川市廃棄物の処理及び清掃に関する条例		

【現状と課題】

現状と課題	人口増加のピーク期を過ぎ、ごみ収集量も緩やかな減少傾向にある。しかしながら、核家族化の進行に伴う世帯数の増加、ごみ分別の多様化により収集作業を取巻く環境は軽減されていない。限られた時間の中でより安全に、より迅速に収集する責務を果たすため、車両の更新は必須である。
-------	---

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象 (だれ・何に対して)	手段 (どういった方法で)	意図 (どのような状態にする)
塵芥収集車両	購入後10年以上経過した塵芥収集車両の計画的な更新を行う。	老朽化した塵芥収集車を更新することにより、修繕費用を節約し、安全で効率的なごみ収集を行う。

対象指標	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値	目標年度
塵芥収集車両数	台			22		
活動指標	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値	目標年度
更新車両台数	台			2	2	平成26年度

活動指標分析結果	経過年数及び車両の損耗の状態から判断し、適切に更新してきた。			
事業費	千円			11,862

成果指標	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値	目標年度
修繕発注件数	件			86	80	平成26年度
上段:計画値/下段:実績値						
上段:計画値/下段:実績値						
上段:計画値/下段:実績値						

成果指標分析結果	車両損耗による事故は発生していないが、大規模な修繕を必要とするケースもあり、計画的に更新を行う必要がある。
----------	---

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	妥当性は高い
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握している
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地はない(成果は十分である)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れることが不可能または不適切である
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	改革実施/コスト削減実施済
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正な受益者負担である・受益者負担になじまない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
購入後10年を経過している車両も多く、計画的に車両更新ができない場合、移動や収集作業中に故障するなど迅速で安全なごみ収集ができない事態が発生することが予想されるため、本事業の実施は必要と考える。

※事業費と財源内訳

決算額	11,862	内訳	国費	県費	市債	8,520	他	400	一般	2,942
-----	--------	----	----	----	----	-------	---	-----	----	-------

加古川市事務事業評価シート〈平成24年度実施事業〉

事務事業名	新クリーンセンター事業		
部局名	環境部	課(室)名	クリーンセンター

【基本情報】

基本目標	03 うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして	会計	01 一般会計
政 策	02 資源の循環と環境美化を推進する	款	04 衛生費
施 策	01 ごみを減らし、リサイクルを進める	項	02 清掃費
期 間	平成15年度～平成33年度	目	04 クリーンセンター費
事業区分	①一般事務経費事業	細目	005 新クリーンセンター事業
地 区 別	市内全域		
関連根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、大気汚染防止法、ダイオキシン類特別措置法		

【現状と課題】

現状と課題	CO2排出量削減、省エネルギーへの取組など社会的要請がある。また、焼却残渣の埋立処分量の削減や資源化率の向上も求められている。
-------	---

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)				意図(どのような状態にする)	
新クリーンセンターの業務統計、最終処分の事務(竜ヶ池・大阪湾フェニックス)、新クリーンセンター運営協議会、クリーンセンターにおける事務統計(車両管理等)等	年間計画に基づく適切な予算執行。運営は長期包括契約先の㈱加古川環境サービスより契約書による各種運営管理資料を入手し確認。焼却灰は大阪湾広域臨海環境整備センターとの協議による搬出量の計画、溶融飛灰の再資源化(山元還元)の計画、新クリーンセンター運営協議会については年2回以上開催し、運転による周辺環境測定結果等と周辺環境整備を協議、報告する。その他の事務については、各種実績により予算、決算を作成する。				新クリーンセンターの円滑かつ適正な維持管理を行う。	
対象指標	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度		
政策的でない一般の事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、対象指標設定対象外						
活動指標	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値	目標年度
政策的でない一般の事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、活動指標設定対象外						
事業費	千円			15,840		
成果指標	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値	目標年度
政策的でない一般の事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、成果指標設定対象外						

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	政策的でない一般の事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、個別評価対象外
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
一般廃棄物の処理は行政の責務であり、焼却による減容化については、その必要性から引続き取組んでゆく必要がある。

※事業費と財源内訳

決算額	15,840	内訳	国費	県費	市債	他	一般	15,840
-----	--------	----	----	----	----	---	----	--------

加古川市事務事業評価シート〈平成24年度実施事業〉

事務事業名	竜ヶ池処理場管理運営事業		
部局名	環境部	課(室)名	クリーンセンター

【基本情報】

基本目標	03 うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして	会計	01 一般会計
政策	02 資源の循環と環境美化を推進する	款	04 衛生費
施策	01 ごみを減らし、リサイクルを進める	項	02 清掃費
期間	昭和55年度～平成33年度	目	04 クリーンセンター費
事業区分	①一般事務経費事業	細目	020 竜ヶ池処理場維持補修事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律		

【現状と課題】

現状と課題	定期的なパトロールの結果悪質な不法投棄は見当たらない。
-------	-----------------------------

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)				意図(どのような状態にする)	
竜ヶ池処理場	竜ヶ池処理場の施設及び車両等の管理				埋立処分場と排水処理場を適切に管理する	
対象指標		単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
政策的でない一般の事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、対象指標設定対象外						
活動指標		単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値 目標年度
政策的でない一般の事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、活動指標設定対象外						
事業費		千円			1,739	
成果指標		単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値 目標年度
政策的でない一般の事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、成果指標設定対象外						

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	政策的でない一般の事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、個別評価対象外
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 適切に管理している

※事業費と財源内訳

決算額	1,739	内訳	国費	県費	市債	他	一般	1,739
-----	-------	----	----	----	----	---	----	-------

加古川市事務事業評価シート〈平成24年度実施事業〉

事務事業名	新クリーンセンター運営管理委託事業		
部局名	環境部	課(室)名	クリーンセンター

【基本情報】

基本目標	03 うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして	会計	01 一般会計
政策	02 資源の循環と環境美化を推進する	款	04 衛生費
施策	01 ごみを減らし、リサイクルを進める	項	02 清掃費
期間	平成19年度～平成33年度	目	04 クリーンセンター費
事業区分	②施設維持補修事業	細目	010 新クリーンセンター運営管理委託事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	大気汚染防止法、下水道法、ダイオキシン類対策特別措置法、廃掃法等		

【現状と課題】

現状と課題	ごみの発生及び排出の抑制と環境負荷の低減が課題
-------	-------------------------

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象 (だれ・何に対して)	手段 (どういった方法で)	意図 (どのような状態にする)				
焼却炉運転全般	業者(株)加古川環境サービスへの長期委託による運営管理	一般廃棄物の焼却処理の適正な運営管理				
対象指標	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度		
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、対象指標設定対象外						
活動指標	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、活動指標設定対象外						
事業費	千円			1,658,369		
成果指標	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、成果指標設定対象外						

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、個別評価対象外
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	
	7 類似事業との統廃合ができませんか。	評価	
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
適正な運営管理が図られている

※事業費と財源内訳

決算額	1,658,369	内訳	国費	県費	市債	他	一般	1,658,369
-----	-----------	----	----	----	----	---	----	-----------

加古川市事務事業評価シート〈平成24年度実施事業〉

事務事業名	竜ヶ池処理場維持補修事業		
部局名	環境部	課(室)名	クリーンセンター

【基本情報】

基本目標	03 うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして	会計	01 一般会計
政策	02 資源の循環と環境美化を推進する	款	04 衛生費
施策	01 ごみを減らし、リサイクルを進める	項	02 清掃費
期間	昭和55年度～平成33年度	目	04 クリーンセンター費
事業区分	②施設維持補修事業	細目	020 竜ヶ池処理場維持補修事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律		

【現状と課題】

現状と課題	浸出水の汚染状態も非常に少なくなり、処理にかかる負荷も低減している。課題としては、埋立完了までの間の老朽化した施設の管理。
-------	---

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)				
竜ヶ池処理場	業務委託による竜ヶ池処理場の浸出水の適正な処理と施設の維持管理	周囲環境の保全及び放流基準の遵守				
対象指標	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度		
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、対象指標設定対象外						
活動指標	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、活動指標設定対象外						
事業費	千円		16,589	16,082		
成果指標	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、成果指標設定対象外						

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、個別評価対象外
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了	
平成28年度以降は、浸出水の下水道への直接放流となるが、引き続き基準を遵守した浸出水の点検管理を行い、縮減された施設の維持管理を行う。	

※事業費と財源内訳

決算額	16,082	内訳	国費	県費	市債	他	一般	16,082
-----	--------	----	----	----	----	---	----	--------

加古川市事務事業評価シート〈平成24年度実施事業〉

事務事業名	焼却残渣処理事業		
部局名	環境部	課(室)名	クリーンセンター

【基本情報】

基本目標	03 うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして	会計	01 一般会計
政策	02 資源の循環と環境美化を推進する	款	04 衛生費
施策	01 ごみを減らし、リサイクルを進める	項	02 清掃費
期間	昭和54年度～平成33年度	目	04 クリーンセンター費
事業区分	⑤市施策事業(経常)	細目	005 新クリーンセンター事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、大気汚染防止法、ダイオキシン類特別措置法		

【現状と課題】

現状と課題	最終処分委託料の減量化(平成12年度比60%減)を求められている。
-------	-----------------------------------

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)				意図(どのような状態にする)	
新クリーンセンターにおいてごみの焼却に伴い発生する、焼却飛灰、不燃物、スラグ、溶融飛灰	新クリーンセンターにおいて発生した飛灰及び溶融飛灰の収集運搬及び処分を委託にて処理する。焼却灰埋立処分委託、焼却灰搬送事業委託、山元還元処理費委託、溶融飛灰運搬業務がある。				焼却残渣物の適切な処理を行う。	
対象指標	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度		
焼却飛灰、不燃物、スラグ、溶融飛灰	トン			10,547		
資源化物(溶融飛灰)	トン			671		
活動指標	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値	目標年度
焼却飛灰、不燃物、スラグ、溶融飛灰	トン			10,547		
資源化物(溶融飛灰)	トン			671		
活動指標分析結果	資源化率6.4%					
事業費	千円			87,889		
成果指標	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値	目標年度
焼却飛灰、不燃物、スラグ、溶融飛灰(実績) 上段:計画値/下段:実績値	トン			10,547	10,000	平成26年度
資源化物(実績) 上段:計画値/下段:実績値	トン			671	5,300	平成26年度
成果指標分析結果	資源化率56.8%					

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	妥当性は高い
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握している
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地が考えられる(大)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れることが不可能または不適切である
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	コスト削減余地がない
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正な受益者負担である・受益者負担になじまない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 埋立処分場を将来にわたり確保するため、埋立処分量の削減が求められている。
--

※事業費と財源内訳

決算額	87,889	内訳	国費	県費	市債	他	一般	87,889
-----	--------	----	----	----	----	---	----	--------

加古川市事務事業評価シート〈平成24年度実施事業〉

事務事業名	大阪湾広域臨海環境整備協議会負担金事業		
部局名	環境部	課(室)名	クリーンセンター

【基本情報】

基本目標	03 うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして	会計	01 一般会計
政策	02 資源の循環と環境美化を推進する	款	04 衛生費
施策	01 ごみを減らし、リサイクルを進める	項	02 清掃費
期間	昭和62年度～平成33年度	目	04 クリーンセンター費
事業区分	⑤市施策事業(経常)	細目	035 大阪湾広域臨海環境整備協議会負担金事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律		

【現状と課題】

現状と課題	第2期埋立処分場の建設工事を平成11年度より開始。1期は平成30年度、2期は平成39年度に完成予定
-------	---

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)				
近畿圏の各自自治体(近畿2府4県のうち、168市町村)	法「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づく最終処分場の確保	廃棄物の最終処分				
対象指標	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度		
フェニックス事業への一般廃棄物搬入量	トン			7,248		
活動指標	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値	目標年度
フェニックス事業への一般廃棄物搬入量	トン			7,248		
活動指標分析結果	前年度実績を基にフェニックスへ廃棄物搬入量を申請している。					
事業費	千円			4,832		
成果指標	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値	目標年度
フェニックス事業への一般廃棄物搬入量(実績)	トン			7,248	4,400	平成26年度
上段:計画値/下段:実績値						
上段:計画値/下段:実績値						
上段:計画値/下段:実績値						
成果指標分析結果	申請量以内の廃棄物を搬入している。搬入料金はあらかじめ設定されているため、単位当りのコストは変化しない。					

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	妥当性は高い
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握している
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地が考えられる(中小程度)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れることが不可能または不適切である
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	コスト削減余地がない
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正な受益者負担である・受益者負担になじまない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
加古川市単独で最終処分場を設置することは困難であることから、これまでどおり「大阪湾フェニックス計画」に頼らざるをえない状況である。

※事業費と財源内訳

決算額	4,832	内訳	国費	県費	市債	他	一般	4,832
-----	-------	----	----	----	----	---	----	-------

加古川市事務事業評価シート〈平成24年度実施事業〉

事務事業名	資源化センター管理運営事業		
部局名	環境部	課(室)名	クリーンセンター

【基本情報】

基本目標	03 うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして	会計	01 一般会計
政策	02 資源の循環と環境美化を推進する	款	04 衛生費
施策	01 ごみを減らし、リサイクルを進める	項	02 清掃費
期間	平成24年度～永年	目	04 クリーンセンター費
事業区分	⑥市施策事業(臨時)	細目	055 資源化センター管理運営事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等			

【現状と課題】

現状と課題	「大量生産・大量消費・大量廃棄の社会」から「循環型社会」へのライフスタイルの見直しが求められている。
-------	--

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)				
再資源化できる廃棄物を処分しようとしている市民及び事業者	再資源化できる紙ごみを無料で受け入れ、再生業者に売却すると共に、市内から回収された蛍光灯・乾電池を処分業者に搬出する。	市民及び事業者の資源のリサイクルに対する意識を高める。				
対象指標	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度		
全市民(団体・法人等を含む)	人			268,000		
活動指標	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値	目標年度
施設利用者数	人			1,000		
紙ごみ受入量	kg			100,000		
活動指標分析結果	事業開始年度により、市の紙資源回収量から積算したため、予測値が高くなっている。					
事業費	千円			1,503		
成果指標	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値	目標年度
施設利用人数(実績) 上段:計画値/下段:実績値	人			373	1,200	平成27年度
紙ごみ受入量(実績) 上段:計画値/下段:実績値	kg			21,920	30,000	平成27年度
成果指標分析結果	紙の受け入れについては、想定よりも少なかった。					

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	妥当性は高い
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は小
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握する必要がない/義務的の事業
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地が考えられる(中小程度)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れることが不可能または不適切である
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	改革実施/コスト削減実施済
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正な受益者負担である・受益者負担になじまない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 事業開始初年度ということもあり、受入量が低調であった。

※事業費と財源内訳

決算額	1,503	内訳	国費	県費	市債	他	一般	1,503
-----	-------	----	----	----	----	---	----	-------

加古川市事務事業評価シート〈平成24年度実施事業〉

事務事業名	竜ヶ池灰埋立最終処分事業		
部局名	環境部	課(室)名	クリーンセンター

【基本情報】

基本目標	03 うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして	会計	01 一般会計
政策	02 資源の循環と環境美化を推進する	款	04 衛生費
施策	01 ごみを減らし、リサイクルを進める	項	02 清掃費
期間	昭和55年度～平成33年度	目	04 クリーンセンター費
事業区分	⑥市施策事業(臨時)	細目	020 竜ヶ池処理場維持補修事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律		

【現状と課題】

現状と課題	クリーンセンターで発生する廃棄物の内スラグを処理
-------	--------------------------

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)				意図(どのような状態にする)	
竜ヶ池灰埋立最終処分場	クリーンセンターで発生したスラグの埋立及び整地				計画的な焼却残渣の埋立処理	
対象指標		単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
スラグの搬入量		トン			1,000	
活動指標		単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値 目標年度
スラグ搬入量		トン			1,000	
活動指標分析結果	前年度(23年度)の溶融炉稼働状況等より算出した数値であり、現状に極力あわせている。					
事業費		千円			1,654	
成果指標		単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値 目標年度
スラグ搬入量(実績)		トン			2,628	0 平成27年度
上段:計画値/下段:実績値						
上段:計画値/下段:実績値						
上段:計画値/下段:実績値						
成果指標分析結果	24年度の溶融炉稼働状況は例年になく順調であった。このため指標の倍近い搬入量となっている。					

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	妥当性は高い
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握している
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地はない(成果は十分である)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れることが不可能または不適切である
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	コスト削減余地がない
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正な受益者負担である・受益者負担になじまない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 スラグの埋立処分は順調である。

※事業費と財源内訳

決算額	1,654	内訳	国費	県費	市債	他	一般	1,654
-----	-------	----	----	----	----	---	----	-------

加古川市事務事業評価シート〈平成24年度実施事業〉

事務事業名	リサイクルセンター管理運営事業		
部局名	環境部	課(室)名	リサイクルセンター

【基本情報】

基本目標	03 うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして	会計	01 一般会計
政策	02 資源の循環と環境美化を推進する	款	04 衛生費
施策	01 ごみを減らし、リサイクルを進める	項	02 清掃費
期間	～ 永年	目	03 リサイクルセンター費
事業区分	①一般事務経費事業	細目	005 リサイクルセンター管理事業
地区別	両荘地区		
関連根拠法令等	加古川市廃棄物の処理及び清掃に関する条例		

【現状と課題】

現状と課題	技能労務職員の退職者不補充施策により、職員数が減少した。
-------	------------------------------

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象 (だれ・何に対して)	手段 (どういった方法で)	意図 (どのような状態にする)				
リサイクルセンター	直営及び民間委託により管理・運営する。	不燃ごみ・粗大ごみを適正処理する。				
対象指標	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度		
政策的でない一般の事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、対象指標設定対象外						
活動指標	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値	目標年度
政策的でない一般の事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、活動指標設定対象外						
事業費	千円		92,274	92,884		
成果指標	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値	目標年度
政策的でない一般の事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、成果指標設定対象外						

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	政策的でない一般の事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、個別評価対象外
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
市としての義務的的事业であるため、委託業務等の拡大等によりコスト削減を図りつつ、今後も維持していく必要がある。

※事業費と財源内訳

決算額	92,884	内訳	国費	県費	市債	他	一般	92,884
-----	--------	----	----	----	----	---	----	--------

加古川市事務事業評価シート〈平成24年度実施事業〉

事務事業名	リサイクルセンター維持補修事業		
部局名	環境部	課(室)名	リサイクルセンター

【基本情報】

基本目標	03 うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして	会計	01 一般会計
政策	02 資源の循環と環境美化を推進する	款	04 衛生費
施策	01 ごみを減らし、リサイクルを進める	項	02 清掃費
期間	～ 永年	目	03 リサイクルセンター費
事業区分	②施設維持補修事業	細目	010 リサイクルセンター維持補修事業
地区別	両荘地区		
関連根拠法令等	加古川市廃棄物の処理及び清掃に関する条例、労働安全衛生法、クレーン等安全規則、計量法		

【現状と課題】

現状と課題	施設老朽化と共に故障等が増加し、点検による指摘も増えてきている。
-------	----------------------------------

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象 (だれ・何に対して)	手段 (どういった方法で)				意図 (どのような状態にする)	
ごみ処理の電気・機械設備	月次点検・年次点検を行う。				施設の安全運転・延命化	
対象指標	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度		
政策的でない一般の事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、対象指標設定対象外						
活動指標	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値	目標年度
政策的でない一般の事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、活動指標設定対象外						
事業費	千円		125,967	119,103		
成果指標	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値	目標年度
政策的でない一般の事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、成果指標設定対象外						

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	政策的でない一般の事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、個別評価対象外
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 市としての義務的事業であるため、コスト削減を図りつつ今後も継続して事業を行っていく必要がある。

※事業費と財源内訳

決算額	119,103	内訳	国費	県費	市債	他	38,177	一般	80,926
-----	---------	----	----	----	----	---	--------	----	--------

加古川市事務事業評価シート〈平成24年度実施事業〉

事務事業名	投棄場管理事業		
部局名	環境部	課(室)名	リサイクルセンター

【基本情報】

基本目標	03 うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして	会計	01 一般会計
政策	02 資源の循環と環境美化を推進する	款	04 衛生費
施策	01 ごみを減らし、リサイクルを進める	項	02 清掃費
期間	～ 永年	目	03 リサイクルセンター費
事業区分	②施設維持補修事業	細目	015 投棄場管理事業
地区別	両荘地区		
関連根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、加古川市廃棄物の処理及び清掃に関する条例		

【現状と課題】

現状と課題	市内に処分場のごみ受入残容量が少ない。
-------	---------------------

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象 (だれ・何に対して)	手段 (どういった方法で)	意図 (どのような状態にする)				
磐東第2 処分場	掘り起こし再生処理を実施し、可燃物はクリーンセンターへ不燃物はフェニックスへ搬出	磐東第2 処分場の延命化				
対象指標	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度		
政策的でない一般の事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、対象指標設定対象外						
活動指標	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値	目標年度
政策的でない一般の事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、活動指標設定対象外						
事業費	千円			36,435		
成果指標	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値	目標年度
政策的でない一般の事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、成果指標設定対象外						

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	政策的でない一般の事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、個別評価対象外
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	
	7 類似事業との統合ができますか。	評価	
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
市としての義務的業務であるため、業務委託、車両レンタル等の業務の競争性を確保し、コスト削減を図りつつ、今後も維持していく必要がある。

※事業費と財源内訳

決算額	36,435	内訳	国費	県費	市債	他	一般	36,435
-----	--------	----	----	----	----	---	----	--------

加古川市事務事業評価シート〈平成24年度実施事業〉

事務事業名	公衆便所維持補修事業		
部局名	環境部	課(室)名	環境政策課

【基本情報】

基本目標	03 うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして	会計	01 一般会計
政策	02 資源の循環と環境美化を推進する	款	04 衛生費
施策	02 清潔で美しい環境をつくる	項	01 保健衛生費
期間	～ 永年	目	03 環境衛生費
事業区分	②施設維持補修事業	細目	010 環境衛生事業
地区別	その他		
関連根拠法令等			

【現状と課題】

現状と課題	J R 厄神駅トイレは汲み取り式で、専用の機械により洗剤が流れる仕組みとなっているため、機器の老朽化による影響を受けやすい。
-------	--

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象 (だれ・何に対して)	手段 (どういった方法で)	意図 (どのような状態にする)				
公衆便所 (3箇所: 篠原町、J R 厄神駅、J R 神野駅)	公衆便所について、清掃業務を委託する。また、必要に応じて修繕等を行う。	年間を通じて公衆便所を清潔に保つ。				
対象指標	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度		
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、対象指標設定対象外						
活動指標	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、活動指標設定対象外						
事業費	千円			2,629		
成果指標	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、成果指標設定対象外						

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、個別評価対象外
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
公衆便所が存続する限り、経費の削減は難しいと考える。

※事業費と財源内訳

決算額	2,629	内訳	国費	県費	市債	他	一般	2,629
-----	-------	----	----	----	----	---	----	-------

加古川市事務事業評価シート〈平成24年度実施事業〉

事務事業名	犬の登録・猫引取り事業		
部局名	環境部	課(室)名	環境政策課

【基本情報】

基本目標	03 うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして	会計	01 一般会計
政策	02 資源の循環と環境美化を推進する	款	04 衛生費
施策	02 清潔で美しい環境をつくる	項	01 保健衛生費
期間	～ 永年	目	03 環境衛生費
事業区分	④義務的施策事業	細目	005 犬の登録・猫引取り事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	狂犬病予防法		

【現状と課題】

現状と課題	国内における狂犬病の発症例が皆無であり、飼い主に危機感がないため、予防注射の接種率が低下傾向にある。
-------	--

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象 (だれ・何に対して)	手段 (どういった方法で)	意図 (どのような状態にする)				
市に登録されている犬の飼い主	犬の飼い主に狂犬病予防注射の案内通知を送付する。未接種犬の飼い主に接種催促状を送付する。市内の公園等へ出向き、獣医師との巡回による予防接種を実施する。獣医師会に予防接種に関する事務を委託する。	催促状等の送付により、狂犬病予防注射接種率の向上を図る。高齢者や、動物病院の少ない地域に住む住民を考慮し、巡回による予防接種を実施することで利便性の向上を図る。				
対象指標	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度		
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、対象指標設定対象外						
活動指標	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、活動指標設定対象外						
事業費	千円		4,146	3,226		
成果指標	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、成果指標設定対象外						

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、個別評価対象外
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
一年を通じての業務及び予算措置については、現状維持が妥当である。

※事業費と財源内訳

決算額	3,226	内訳	国費	県費	市債	他	3,226	一般
-----	-------	----	----	----	----	---	-------	----

加古川市事務事業評価シート〈平成24年度実施事業〉

事務事業名	環境衛生事業		
部局名	環境部	課(室)名	環境政策課

【基本情報】

基本目標	03 うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして	会計	01 一般会計
政策	02 資源の循環と環境美化を推進する	款	04 衛生費
施策	02 清潔で美しい環境をつくる	項	01 保健衛生費
期間	～ 永年	目	03 環境衛生費
事業区分	⑤市施策事業(経常)	細目	010 環境衛生事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等			

【現状と課題】

現状と課題	補助金額については平成19年度までは定期的な増額が行われてきたが、平成20年度以降、定期的に減額してきている。
-------	---

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)
加古川市保健衛生協議会	補助金(120万円)を交付する。	保健衛生協議会の運営に対して補助金を支出する。

対象指標	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値	目標年度
単位町内会・自治会	町内会・自治会			321		
活動指標	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値	目標年度
保健衛生協議会運営予算額	円			7,670,000		

活動指標分析結果	保健衛生協議会への補助金の支出は適正である。				
事業費	千円			1,512	

成果指標	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値	目標年度
保健衛生協議会運営決算額	円			6,980,044	7,000,000	平成27年度

成果指標分析結果	事業内容や予算の執行状況に応じ、ある程度の減額は可能であると考えます。
----------	-------------------------------------

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	妥当性は高い
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握している
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地が考えられる(中小程度)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れている
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	コスト削減余地あり
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正な受益者負担である・受益者負担になじまない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 保健衛生協議会への補助は今後も継続して行う必要があると考える。

※事業費と財源内訳

決算額	1,512	内訳	国費	県費	市債	他	一般	1,512
-----	-------	----	----	----	----	---	----	-------

加古川市事務事業評価シート〈平成24年度実施事業〉

事務事業名	環境美化キャンペーン事業		
部局名	環境部	課(室)名	環境第1課

【基本情報】

基本目標	03 うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして	会計	01 一般会計
政策	02 資源の循環と環境美化を推進する	款	04 衛生費
施策	02 清潔で美しい環境をつくる	項	02 清掃費
期間	平成16年度～永年	目	01 清掃総務費
事業区分	⑤市施策事業(経常)	細目	010 環境美化推進事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、加古川市廃棄物の処理及び清掃に関する条例		

【現状と課題】

現状と課題	ポイ捨て禁止条例や日頃からの美化活動の成果により、美化キャンペーン実施地域においては、一定の成果が見られるようになった。また、アダプトプログラムについては、高齢化等による理由から活動を停止する団体もある。
-------	--

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)				
市民・町内会	①アダプトプログラム登録制度を実施し、活動団体を支援する。②美化キャンペーンを実施し、美化活動推進の啓発を行う。	市民の環境美化への意識向上				
対象指標		単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
加古川市人口(10/1付推計人口)		人			268,390	
単位町内会・自治会		町会・自治会			321	
活動指標		単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値 目標年度
アダプトプログラム登録団体数		団体			39	45
美化キャンペーン参加者数		人			800	
町内会一斉清掃実施団体		団体			210	210
活動指標分析結果	アダプトプログラム登録団体数は増減が無く、普及啓発を行い参加団体を増やす必要がある。美化キャンペーンについては、参加者数が減少してきており、実施方法の変更が必要である。					
事業費		千円			260	
成果指標		単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値 目標年度
町内会一斉清掃回数		回			450	500 平成30年度
上段:計画値/下段:実績値						
上段:計画値/下段:実績値						
上段:計画値/下段:実績値						
成果指標分析結果	地域美化のPR等により、地域の美化意識の高揚に繋がっており一斉清掃の実施回数が安定したものとなっている。					

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	妥当性は高い
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握している
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地が考えられる(中小程度)
	7 類似事業との統廃合が出来ますか。	評価	統廃合が考えられる(市役所内の類似事業)
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れている
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	コスト削減余地がない
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正な受益者負担である・受益者負担になじまない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了	
市民ボランティア団体への側面的支援により、地域コミュニティを図りながら美化活動への意識向上に貢献していると考えられる。しかしながら、美化キャンペーンについては、対象地域に偏りがあり、全市を対象とする施策が必要と考える。	

※事業費と財源内訳

決算額	260	内訳	国費	県費	市債	他	一般	260
-----	-----	----	----	----	----	---	----	-----

加古川市事務事業評価シート〈平成24年度実施事業〉

事務事業名	不法投棄対策事業		
部局名	環境部	課(室)名	環境第1課

【基本情報】

基本目標	03 うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして	会計	01 一般会計
政策	02 資源の循環と環境美化を推進する	款	04 衛生費
施策	02 清潔で美しい環境をつくる	項	02 清掃費
期間	平成14年度～永年	目	01 清掃総務費
事業区分	⑤市施策事業(経常)	細目	010 環境美化推進事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、加古川市廃棄物の処理及び清掃に関する条例		

【現状と課題】

現状と課題	不法投棄問題が年々増加しているなかで、ごみの適正処理に対する市民の意識の啓発や快適な生活環境の保持のため、事業を継続する必要性が高いと考えている。
-------	---

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)		意図(どのような状態にする)			
市域全体	●不法投棄防止看板の作成・設置 ●巡回パトロール ●不法投棄物の収集		看板の設置やパトロール等を行うことにより、不法投棄を抑止する。			
対象指標	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値	目標年度
不法投棄発見件数	件		190	196		
活動指標	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値	目標年度
不法投棄受理件数	件		190	196	200	平成26年度
不法投棄物回収量	kg		20,470	16,980	20,000	平成26年度
防止看板設置枚数	枚		12	8	50	平成26年度
活動指標分析結果	平成24年度の不法投棄受理件数196件は、直近6ヵ年の平均不法投棄受理件数190件と同等であり適当と考える。					
事業費	千円		1,599	1,550		
成果指標	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値	目標年度
不法投棄解消率	%			100	100	平成26年度
上段:計画値/下段:実績値			100	100		
不法投棄回収率	%			100	100	平成26年度
上段:計画値/下段:実績値			100	100		
上段:計画値/下段:実績値						
成果指標分析結果	清潔で美しい環境づくりのため、不法投棄解消率及び回収率は全量回収の100%を目指すべきであり、妥当なものとする。					

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	妥当性は高い
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握している
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地はない(成果は十分である)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れる余地がある
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	改革実施/コスト削減実施済
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正な受益者負担である・受益者負担になじまない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了	
不法投棄事案については、市民が自己解決することが困難であり、本事業によって対応せざるを得ない状況と考える。投棄件数の推移を勘案してパトロールの回数、ルート選定の見直し等の改善は必要である。	

※事業費と財源内訳

決算額	1,550	内訳	国費	県費	市債	他	一般	1,550
-----	-------	----	----	----	----	---	----	-------

加古川市事務事業評価シート〈平成24年度実施事業〉

事務事業名	し尿収集管理事業に要する一般的経費		
部局名	環境部	課(室)名	環境第2課

【基本情報】

基本目標	03 うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして	会計	01 一般会計
政策	02 資源の循環と環境美化を推進する	款	04 衛生費
施策	02 清潔で美しい環境をつくる	項	02 清掃費
期間	昭和34年度～ 永年	目	06 し尿処理費
事業区分	①一般事務経費事業	細目	005 し尿収集管理事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、加古川市廃棄物の処理及び清掃に関する条例		

【現状と課題】

現状と課題	し尿くみ取りの世帯数は、公共下水道の普及及び合併処理浄化槽の設置により減少傾向にある。平成24年度は7,827世帯（直営及び委託収集対象）。
-------	--

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象（だれ・何に対して）	手段（どういった方法で）	意図（どのような状態にする）				
加古川市一般廃棄物処理基本計画に基づき、し尿くみ取り便槽から排出されるし尿の収集運搬を必要とする者。	家庭等から排出されるし尿の量に対して、し尿処理手数料の賦課徴収を行う。	し尿処理手数料の賦課徴収を行うことにより、し尿収集事業を適正に執行し、生活環境の保全及び公衆衛生の確保を図る。				
対象指標	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度		
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、対象指標設定対象外						
活動指標	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、活動指標設定対象外						
事業費	千円			1,264		
成果指標	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、成果指標設定対象外						

【個別評価】（妥当性・有効性・効率性の視点から評価）

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、個別評価対象外
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	

【総合評価】（上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価）

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了	し尿収集世帯は、下水道整備計画の進捗状況及び合併処理浄化槽の設置状況により減少するが、完全に無くなるまでは引続きし尿収集業務を実施しなければならないため。
--	---

※事業費と財源内訳

決算額	1,264	内訳	国費	県費	市債	他	一般	1,264
-----	-------	----	----	----	----	---	----	-------

加古川市事務事業評価シート〈平成24年度実施事業〉

事務事業名	し尿収集事業		
部局名	環境部	課(室)名	環境第2課

【基本情報】

基本目標	03 うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして	会計	01 一般会計
政策	02 資源の循環と環境美化を推進する	款	04 衛生費
施策	02 清潔で美しい環境をつくる	項	02 清掃費
期間	昭和34年度～ 永年	目	06 し尿処理費
事業区分	①一般事務経費事業	細目	010 し尿収集事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律		

【現状と課題】

現状と課題	し尿くみ取りの世帯数や浄化槽の設置数は、公共下水道の普及により減少傾向にある。
-------	---

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)				
加古川市一般廃棄物処理基本計画に基づき、し尿くみ取り便槽から排出されるし尿の収集運搬を必要とする者。	し尿収集登録世帯の内、直営により担当地域のし尿収集・運搬を適正に実施する。	家庭等から排出されるし尿を適正(定例的・効率的)に収集・運搬する事で公衆衛生を確保する。				
対象指標	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度		
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、対象指標設定対象外						
活動指標	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、活動指標設定対象外						
事業費	千円		10,671	9,824		
成果指標	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、成果指標設定対象外						

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、個別評価対象外
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
し尿収集量は減少しているが、し尿くみ取り世帯にとって必要性は変わっていない。

※事業費と財源内訳

決算額	9,824	内訳	国費	県費	市債	他	9,824	一般
-----	-------	----	----	----	----	---	-------	----

加古川市事務事業評価シート〈平成24年度実施事業〉

事務事業名	し尿終末処理施設管理運営事業		
部局名	環境部	課(室)名	環境第2課

【基本情報】

基本目標	03 うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして	会計	01 一般会計
政策	02 資源の循環と環境美化を推進する	款	04 衛生費
施策	02 清潔で美しい環境をつくる	項	02 清掃費
期間	昭和55年度～ 永年	目	07 し尿処理施設費
事業区分	①一般事務経費事業	細目	005 し尿終末処理管理事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、加古川市廃棄物の処理及び清掃に関する条例		

【現状と課題】

現状と課題	投入施設から発生する悪臭について、活性炭を利用して悪臭対策を行っており、問題はない。
-------	--

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)				
尾上処理工場	事業予算を有効に活用し、尾上処理工場の効率、適正な管理運営を行う。	市内で発生する、し尿、浄化槽汚泥を加古川下流浄化センターに投入するため、加古川下流浄化センターの受入れ基準に合うよう施設の維持管理を図る。				
対象指標		単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、対象指標設定対象外						
活動指標		単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値 目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、活動指標設定対象外						
事業費		千円		315	453	
成果指標		単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値 目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、成果指標設定対象外						

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、個別評価対象外
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	
	7 類似事業との統廃合ができませんか。	評価	
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
平成13年度から加古川下流浄化センターにし尿及び浄化槽汚泥の全量処理委託を行い、維持管理の効率化とし尿及び浄化槽汚泥の適正な処理を行っている。

※事業費と財源内訳

決算額	453	内訳	国費	県費	453	市債	他	一般
-----	-----	----	----	----	-----	----	---	----

加古川市事務事業評価シート〈平成24年度実施事業〉

事務事業名	し尿終末処理施設維持補修事業		
部局名	環境部	課(室)名	環境第2課

【基本情報】

基本目標	03 うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして	会計	01 一般会計
政策	02 資源の循環と環境美化を推進する	款	04 衛生費
施策	02 清潔で美しい環境をつくる	項	02 清掃費
期間	昭和55年度～永年	目	07 し尿処理施設費
事業区分	②施設維持補修事業	細目	010 し尿終末処理施設維持補修事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、浄化槽法、加古川市廃棄物の処理及び清掃に関する条例		

【現状と課題】

現状と課題	平成7年から一部、加古川下流浄化センターにし尿及び浄化槽汚泥投入処理を行い、平成13年度から全量投入処理を行って現在に至っている。
-------	---

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)					
尾上処理工場	尾上処理工場の設備等の保守点検、整備を行い処理機能の維持及び運転管理をする。	し尿、浄化槽汚泥の前処理を行い、加古川下流浄化センターの、し尿・浄化槽汚泥の受入れ基準に適合するよう、施設の処理機能の維持を図る。					
対象指標		単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度		
政策的でない一般の事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、対象指標設定対象外							
活動指標		単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値	目標年度
政策的でない一般の事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、活動指標設定対象外							
事業費		千円		53,640	54,321		
成果指標		単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値	目標年度
政策的でない一般の事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、成果指標設定対象外							

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	政策的でない一般の事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、個別評価対象外
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
昭和55年度に竣工し、現在もし尿・浄化槽汚泥の投入施設等は運営しているが、老朽化が進んでいる。

※事業費と財源内訳

決算額	54,321	内訳	国費	県費	市債	他	3,200	一般	51,121
-----	--------	----	----	----	----	---	-------	----	--------

加古川市事務事業評価シート〈平成24年度実施事業〉

事務事業名	し尿終末処理事業		
部局名	環境部	課(室)名	環境第2課

【基本情報】

基本目標	03 うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして	会計	01 一般会計
政策	02 資源の循環と環境美化を推進する	款	04 衛生費
施策	02 清潔で美しい環境をつくる	項	02 清掃費
期間	平成7年度～永年	目	07 し尿処理施設費
事業区分	④義務的施策事業	細目	010 し尿終末処理施設維持補修事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、浄化槽法、加古川市廃棄物の処理及び清掃に関する条例		

【現状と課題】

現状と課題	尾上処理工場の施設を解体することなく、加古川市域から発生するし尿、浄化槽汚泥を受け入れ、加古川下流浄化センターへの投入処理が可能となった。このため、尾上処理工場の解体工事を行っていないので、周辺環境に負荷をかけることなく現在に至っている。
-------	---

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)				
加古川市域から発生するし尿・浄化槽汚泥。	尾上処理工場に集められた、し尿・浄化槽汚泥を加古川下流浄化センターに投入し、し尿等の適正処理を行う。	市単独でし尿・浄化槽汚泥を適正処理するため、処理施設を建設、運営することと比較して、加古川下流浄化センターに処理委託するほうがコストがかからない。				
対象指標	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度		
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、対象指標設定対象外						
活動指標	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、活動指標設定対象外						
事業費	千円		160,949	152,725		
成果指標	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、成果指標設定対象外						

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、個別評価対象外
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
当面、現在の状況を維持するのであれば、老朽化した施設の延命化を図る。

※事業費と財源内訳

決算額	152,725	内訳	国費	県費	市債	他	一般	152,725
-----	---------	----	----	----	----	---	----	---------

加古川市事務事業評価シート〈平成24年度実施事業〉

事務事業名	し尿収集運搬業務委託事業		
部局名	環境部	課(室)名	環境第2課

【基本情報】

基本目標	03 うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして	会計	01 一般会計
政策	02 資源の循環と環境美化を推進する	款	04 衛生費
施策	02 清潔で美しい環境をつくる	項	02 清掃費
期間	昭和42年度～永年	目	06 し尿処理費
事業区分	⑤市施策事業(経常)	細目	005 し尿収集管理事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、加古川市廃棄物の処理及び清掃に関する条例		

【現状と課題】

現状と課題	公共下水道及び合併処理浄化槽の普及によりし尿収集登録世帯数は減少傾向にある。平成25年4月1日現在でのくみ取り世帯数においては、委託対象は4,483世帯、直営対象は3,005世帯、全体で7,488世帯である。
-------	--

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)
加古川市一般廃棄物処理基本計画に基づき、し尿くみ取り便槽から排出されるし尿の収集運搬を必要とする者。	加古川市一般廃棄物処理基本計画に基づき、し尿収集登録世帯の内、し尿収集運搬業務委託による委託区域のし尿収集・運搬を適正に実施する。	家庭等から排出されるし尿を適正(定例的・効率的)に収集・運搬する事で生活環境の保全及び公衆衛生の確保を図る。

対象指標	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度
し尿収集登録世帯数	世帯			7,827

活動指標	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値	目標年度
し尿収集運搬業務委託業者数	社			9		

活動指標分析結果	し尿収集世帯は、下水道整備及び合併処理浄化槽の設置により減少傾向にあるが、完全に無くなるまでは引き続きし尿収集業務を実施しなければならず、適正かつ効率的な事業執行を行う。
----------	---

事業費	千円			105,095
-----	----	--	--	---------

成果指標	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値	目標年度
委託によるし尿収集世帯数	世帯			4,686	4,105	平成27年度
上段:計画値/下段:実績値						
上段:計画値/下段:実績値						
上段:計画値/下段:実績値						

成果指標分析結果	公共下水道及び合併処理浄化槽の普及により、し尿収集世帯数は減少傾向にある。
----------	---------------------------------------

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	義務的事業
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握する必要がない/義務的事業
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地はない(成果は十分である)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れることが不可能または不適切である
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	コスト削減余地あり
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正な受益者負担である・受益者負担になじまない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了	
廃棄物処理法第6条の2により、一般廃棄物処理計画に従い、適正に事業執行を行う。なお、し尿収集世帯は、下水道普及の整備及び合併処理浄化槽の設置により減少するが、完全に無くなるまでは引き続きし尿収集業務を実施しなければならぬため、事業の方向性は維持判定としている。	

※事業費と財源内訳

決算額	105,095	内訳	国費	県費	市債	他	一般	105,095
-----	---------	----	----	----	----	---	----	---------

加古川市事務事業評価シート〈平成24年度実施事業〉

事務事業名	合併浄化槽設置補助事業		
部局名	環境部	課(室)名	環境第2課

【基本情報】

基本目標	03 うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして	会計	01 一般会計
政策	02 資源の循環と環境美化を推進する	款	04 衛生費
施策	02 清潔で美しい環境をつくる	項	02 清掃費
期間	平成18年度～平成29年度	目	06 し尿処理費
事業区分	⑤市施策事業(経常)	細目	015 合併浄化槽設置補助事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	加古川市浄化槽設置整備補助金等交付要綱		

【現状と課題】

現状と課題	市内における単独処理浄化槽は、平成18年8,611件から平成23年6,603件(4月1日現在)に減少している。今後、生活環境の改善と公共水域の水質保全をより推進するため、合併処理浄化槽の設置をさらに促進する必要がある。
-------	---

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)
加古川市生活排水処理計画で、公共下水道、農業集落排水処理施設で排水処理することとされている地域以外の地域で、住宅に10人槽以下の浄化槽を設置しようとする者及び合併処理浄化槽を設置するため改造工事を行う者。	設置する合併処理浄化槽の人槽に応じて5人槽45万円～10人槽90万円の補助金を、汲取りから合併処理浄化槽への改造工事は5万円、単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への改造工事は2万5千円の助成金を交付する。	合併処理浄化槽の設置を促進し、生活環境の改善と公共水域の水質保全を推進する。

対象指標	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値	目標年度
公共下水道・農業集落排水処理施設対象区域外の住	人	30,597	29,226	29,175		
活動指標	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値	目標年度
合併処理浄化槽設置補助申請件数	件	13	16	13	80	平成29年度

活動指標分析結果	広報等での周知PRにより問合せも増加し、補助金制度の周知は図られていると考えるが、より推進していくためには新たな周知PRも必要になると考える。			
事業費	千円	7,709	8,956	7,148

成果指標	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値	目標年度
合併処理浄化槽設置補助交付件数(累計)	件				356	平成29年度
上段:計画値/下段:実績値		247	263	276		
上段:計画値/下段:実績値						
上段:計画値/下段:実績値						

成果指標分析結果	市内の合併処理浄化槽の設置補助については、循環型社会形成推進地域計画に基づき平成25年度～平成29年度に80基の交付金補助申請を予定しており、目標値に向かって申請件数は増えている。なお、成果指標値は、H18年度からの累計基数。
----------	---

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	妥当性は高い
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握していない
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地が考えられる(中小程度)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れることが不可能または不適切である
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	コスト削減余地がない
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	おおむね適正であり、当分の間見直す必要がない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了	
成果指標である平成18年度からの合併処理浄化槽設置補助件数の累計は増加しているが、平成25年度から平成29年度の新たな目標達成に向け、広報やホームページ等により市民や設置業者へ積極的にPRを図っていく必要がある。	

※事業費と財源内訳

決算額	7,148	内訳	国費	1,602	県費		市債		他		一般	5,546
-----	-------	----	----	-------	----	--	----	--	---	--	----	-------

加古川市事務事業評価シート〈平成24年度実施事業〉

事務事業名	し尿収集車両購入事業		
部局名	環境部	課(室)名	環境第2課

【基本情報】

基本目標	03 うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして	会計	01 一般会計
政策	02 資源の循環と環境美化を推進する	款	04 衛生費
施策	02 清潔で美しい環境をつくる	項	02 清掃費
期間	昭和34年度～永年	目	06 し尿処理費
事業区分	⑦投資事業	細目	020 し尿収集車両購入事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律		

【現状と課題】

現状と課題	し尿くみ取りの世帯数や浄化槽の設置数は、公共下水道の普及により減少傾向にある。
-------	---

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)
加古川市一般廃棄物処理基本計画に基づき、し尿くみ取り便槽から排出されるし尿の収集運搬を必要とする者。	し尿収集登録世帯の内、直営による担当地域のし尿収集・運搬を適正に実施する。	家庭等から排出されるし尿を適正(定例的・効率的)に収集・運搬する事で公衆衛生を確保する。

対象指標	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値	目標年度
し尿収集登録世帯数	世帯			7,827		
活動指標	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値	目標年度
直営担当し尿収集世帯	世帯			3,141		

活動指標分析結果	下水道整備の進捗、合併処理浄化槽設置にともない、直営担当し尿収集世帯は減少している。			
事業費	千円			6,672

成果指標	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値	目標年度
し尿収集量	k l			9,890	8,670	平成27年度
上段:計画値/下段:実績値						
上段:計画値/下段:実績値						
上段:計画値/下段:実績値						

成果指標分析結果	下水道整備の進捗、合併処理浄化槽設置にともない、し尿収集量は減少している。
----------	---------------------------------------

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	義務的事業
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が中程度/義務的事業
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握する必要がない/義務的事業
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地が考えられる(中小程度)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れることが不可能または不適切である
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	コスト削減余地あり
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正な受益者負担である・受益者負担になじまない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 し尿収集量は減少しているが、し尿くみ取り世帯にとって必要性は変わっていない。
--

※事業費と財源内訳

決算額	6,672	内訳	国費	県費	市債	4,900	他	一般	1,772
-----	-------	----	----	----	----	-------	---	----	-------